

芝浦工業大学、「国際女性デー」にエンジニアリングにおける ダイバーシティの大切さを伝える広告出稿

3月8日（金）朝日新聞 読売新聞朝刊に掲載

* * *

芝浦工業大学(東京都江東区/学長 山田純)は、3月8日の「国際女性デー」に合わせ、エンジニアリングにおけるダイバーシティの大切さを伝える広告を、2024年3月8日(金)の朝日新聞および読売新聞朝刊に出稿しました。

芝浦工業大学は「未来を担う理工系女性技術者の育成」のため、2027年の創立100周年に女子学生比率30%を目標に設定(2023年5月現在19.8%)しました。その根幹には「教育も研究も、ダイバーシティの中にこそイノベーションが生まれる」という考えがあります。エンジニアリングの現場で男女比率に大きな差があることが要因の一つとして、開発されたものに生物学的・役割分担的な性差が現れてしまうこともあります。芝浦工業大学は技術者の男女比率均衡に努め、エンジニアリングでもっと偏らない世界を目指します。



WOMAN 8%
MAN 92%

全国工学部教員
男女比率
男9:1女

AIが
社員を採用すると
男性を優先すると

#この男女差は なぜだろう

自動車は男性が運転するもの、エンジニアは男性の職業。
そんな性別による無意識の偏見が
さまざまな商品の製造工程やシステムの設計プロセスにまぎれ込んだ結果、
社会には自然な「男女差」が生まれているのからしめません。
例えば、自動車の衝突安全テストに用いられるダミー人形は
平均的な「男性」の体格に基づいていました。
だから、私たちはエンジニアリングの現場に女性を埋やしていく。
研究の現場、新しいテクノロジーを開発する現場。
社会によりよいシステムを実装していく
イノベーションの中心地に女性が居れば、
もっと男女偏りなく暮らしやすい世の中になる。
芝浦工業大学は2027年に女子学生比率30%以上を目標にしています。
性差を覆えたイノベーションが拓ける未来を目指して。

交通事故時、
女性の重傷リスクは
1.5倍高い

男性トイレに
おむつ替えスペースが
ほとんどない

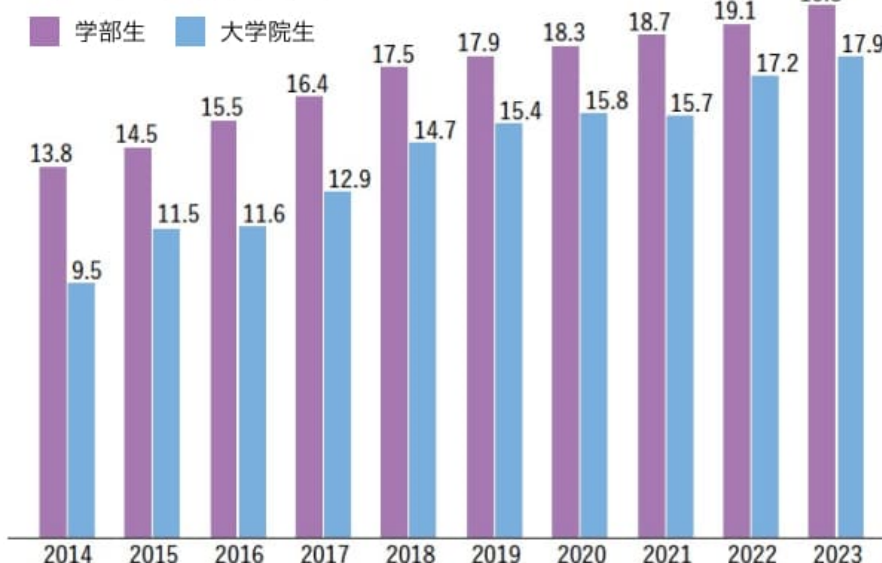
全国の
工学部における
女子学生比率
16%



■ 芝浦工業大学の女子学生比率向上への取り組み

- ・2018年度から公募制推薦入学者選抜（女子）
- ・2022年度から入学試験の成績が優秀であった女子入学者100名以上を支給対象とした奨学金(入学金相当)を設置
- ・2022年度から教育連携協定を締結した女子高校と1週間の研究室体験インターンシップを開催
- ・2022年度から女子高校生とその保護者を対象に「女子向けミニオープンキャンパス」を開催

女子学生の割合（％）



■ 関連リンク

▼女子学生比率30%に向けた、芝浦工業大学の入試改革

https://www.shibaura-it.ac.jp/headline/detail/20240225_7070_903.html

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約9,500人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行し、従来の教育の在り方を根本から変えていきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 広報連携推進部企画広報課 柴田

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp